



■一生を左右する挑戦がスタート！「何から始める？」迷えるあなたへ

就職は人生の大きな節目です。初めて社会に出ることに不安はつきものですが、その一歩で未来は大きく変わります。今、進学仲間たちも動き始めています。就職も同じように「**早めの準備**」が**成功のカギ**です。「まだ大丈夫」ではなく、「**今から動こう**」という気持ちを大切にしてください。「自分に向く仕事かわからない」「自信がない」と悩むこともすべてが成長の一歩です。どんな小さなことでも、まずは担任や進路の先生に相談してみましょう。**あなたの未来は、あなたの手で切りひらくことができます。**一緒に納得できる進路を見つけていきましょう！

1・2年生のみなさんも、「進路はまだ先」と思わずに、今のうちから「どんな働き方をしたいか」視野を広げておくことが、3年生になったときの大きな力になります。



■就職試験で見られる「4つのリアル」

①「欠席をしない」ことは最大の自己アピール！

どんなに優秀な人でも、会社を頻繁に休む人は採用されません。今、毎日遅刻せず学校に来ていること自体が、企業に対する最高の証明書になります。体調管理も実力のうちです。

②身だしなみ・言葉遣いはプロに一瞬で見抜かれる！

髪型(女子の触覚、男子の整髪料や髭など)、制服の着こなし、正しい敬語。「面接の本番だけちゃんとすればいいや」は通用しません。普段のガサツな癖は、緊張した本番で必ず出ます。

③人物評価が100点満点でも筆記試験で不採用はある

「面接が得意だから大丈夫」と高を括っていませんか？どれだけ面接の受け答えが素晴らしく、人柄が満点だと評価されても、筆記試験(一般常識やSPIなど)の点数が基準に届かなければ、その時点で不採用になるのが就職のシビアな現実です。今から問題集を1日1ページでも進めましょう。

④「職場見学」の瞬間からすでに試験は始まっている

7月22日から始まる企業見学。これは単なる「見学」ではありません。挨拶、言葉遣い、身だしなみ、話を聞く姿勢……すべてチェックされていると思って臨みましょう。会場に入った瞬間から試験はスタートしています。

■「緊張する」を言い訳にしない！面接練習は「場慣れ」がすべて

面接で緊張するのは当たり前です。それを克服する唯一の方法は、「**何度も繰り返し練習して、体に染み込ませる(場慣れすること)**」です。学校のルールとして「**最低5人の先生に見てもらおう**」ことになっていますが、5人はあくまで最低ライン。10回、20回と場数を踏み、どんな質問が来ても「自分の言葉」で返せる自信をつけましょう。

面接の目的とは？

- ✓ 人柄やマナー (社会人としてやっていけるか)
- ✓ 志望動機 (なぜその会社を選んだのか)
- ✓ やる気と熱意 (仕事に対する前向きさ)
- ✓ コミュニケーション力

面接で見られるポイント

- ✓ 身だしなみ (制服を正しく着る。髪型・髭・爪・靴・鞆は清潔にしておく。※特に髪型について整髪料・女子の触覚注意)
- ✓ 挨拶・礼儀(元気な声と言葉遣い)
- ✓ 話し方 (ゆっくり、はっきり相手の目を見る)

事前練習がカギ

「緊張する」のは当たり前。でも練習すれば自信に変わります。模擬面接を受ける/先生に見てもらおう/鏡で練習する/録音してみるなど、色々な対策をしましょう。



■「今年度から「履歴書はデジタル化」へ！

今年度から、履歴書の作成が手書きから「デジタル入力」に変わります！

○メリット

書き直しが簡単になり、スマホやPCで文章の校正がしやすくなる。

○注意点

字の綺麗さで熱意を誤魔化せない分、「内容の具体性」や「誤字脱字」がこれまで以上に厳しくチェックされます。AIの文章を丸写ししたようなコピペはプロに一発で見抜かれます。自分のエピソードを自分の言葉で打ち込みましょう。

■就職活動スケジュール

| | |
|----------|-------------------|
| 6月 18(木) | 3年分野別面接講座 |
| 25(木) | 就職希望者ガイダンス |
| 7月 1(水)~ | 求人票の公開 |
| 21(火) | 就職希望者見学指導 |
| 22(水)~ | 企業見学スタート |
| 8月 17(月) | 校内選考申し込み締め切り16:00 |
| 24(月) | 履歴書(清書)締め切り |
| | 面接練習開始 |
| | (最低5人の先生方に見てもらおう) |
| 9月 1(月) | 履歴書発送 |
| 10(木) | 社会人講師面接指導 |
| 15(火) | 就職結団式 |
| 16(水)~ | 入社試験スタート |

■保護者と「作戦会議」をしよう！

進路選択は、あなたの一生を左右するからこそ、一番の味方である保護者の方との話し合いが絶対に不可欠です。

- ▶「地元で働いてほしいのか」「県外への挑戦を応援してくれるのか」など、親の想いと自分の希望をすり合わせる。
- ▶初任給や一人暮らしの生活費など、「お金の現実」について大人のアドバイスをもらう。
- ▶「今、学校でこんな準備をしてるよ」と進捗を伝えるだけでも、おうちの人は安心します。

